



盲導犬体験教室

5年生の感想

盲導犬について、話を聞いた後、5年生全員が、アイマスクをして、盲導犬と歩く体験をし、目の不自由な方の気持ちを、実感することができました。

1組 F.A

盲導犬はふつうの犬とはちがって、しっかりしているなと思いました。ぜんぜんほえないし、今日実際にみんなが体験してもあばれないし、段差やしょうがい物があってもよけてくれるから、すごい犬だなと思いました。

1組 H.H

目が見えない人が歩くと、前が見えないだけで、こんなにこわいとは思いませんでした。だから、目が見えない人と会ったときは、気をつかってあげようと思います。

1組 Y.R

わたしは、盲導犬体験をして、最初はこわそうだと思いました。でも、やってみると、犬が引っばってくれるので、安心できてよかったです。盲導犬に会ったときは、仕事なので、なるべく話しかけないようにしたいです。また、盲導犬は、大切な命を守ってくれると思うと、「ありがとう」という気持ちになり、大切だなあと思いました。

2組 S.K

盲導犬は、ちゃんと判断でき、しょうがい物もきちんとよけていて、おどろきました。盲導犬は、900頭もいるのに、盲導犬を待っている人が、7000人以上もいて、おどろきました。盲導犬は、とても人なつこいので、仕事では、なでたり食べ物あげたりすると、その人のことが気になって仕事を忘れてしまうということが分かったので、あたたかく無視しようと思います。

2組 K.K

盲導犬は、視覚しょうがいをもっている人に、とても役に立っていることが分かりました。盲導犬は、道を教えてくれるだけでなく、気持ちも分かってくれるそんなすごい犬だと知らなかったけど、よく分かりました。こまっている人がいたら、私が助けてあげたいと思いました。

2組 S.Y

盲導犬は、いろいろな訓練をして、ちゃんとした盲導犬になるんだなあと思いました。最初はただの犬でも、訓練をして、こんなに成長して働けるなんて、すごいと思いました。もしぼくが、目が見えなくて、盲導犬をつれていたら、ゆうどうしたり、言うことを聞いたりしてくれたら、いっぱいほめてあげたいです。



3組 A.H

盲導犬は、目の不自由な人を助けていて、人ではないけど、かっこいいと思いました。盲導犬は、約900頭いて、盲導犬の力をかしてほしいという人は、約7000人いると聞いて、その差にびっくりしました。盲導犬と歩く体験をしてみると、盲導犬のおかげですいすいと安心して歩けました。町で、目の不自由な人を見かけたら、声をかけてお手伝いをしてあげたいです。

3組 F.Y

盲導犬体験をして、盲導犬のあつかい方や、白杖、手引きのやり方が分かりました。盲導犬には、英語でいろいろ合図をするということも分かりました。角の所や、段差で止まることは、すごいなと思いました。

3組 K.S

犬が生まれてから、たくさんの人たちがかわわっていた。1頭が盲導犬になるのに、300万円もかかることにおどろいた。学校に入った犬全員が、盲導犬になれないということで、しつけるのも大変だ。また、盲導犬を必要としている人が、しつけている盲導犬より多いことが分かった。私が大人になったら、少しでもかわられるようにして、もっと目の不自由な人たちを助けたい。

「やさしさ探し」

実際に体験活動をすることで、目の不自由な方の気持ちを考え、「もし、自分だったら…」「自分のできることは…」と、真剣に考えることができました。5年生では、総合的な学習の時間で、目の不自由な方以外にも、高齢者や、身体が思うように動かせず車椅子で生活する方などの生活や思いについて、学習します。障がいの有無にかかわらず、全ての人に「人権」があり、それを考えることが「やさしい社会」につながることを、学習します。